ＥＮＥＯＳ海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2026 年 11 月 2 日

工学部・(工学研究科修士課程)（どちらか○で囲む）
所属学科・専攻・回生 社会基盤工学 学科・(専攻) 1 回生

氏　名 礒崎 颯太

1．参加期間　2026 年 10 月 25 日 から 2026 年 10 月 29 日

2．会場（開催国・場所・機関等）

オーストラリア、パース、GHGT

3．発表成果（概要）

発表題目「Impact of Water Contact Condition on MgO Carbonation for CO_2 Mineralization」に基づき、ナノメートルスケールの水膜内での鉱物と二酸化炭素の反応挙動に関する研究成果をポスター発表した。発表後には、国内外の研究者と自身の研究テーマについて意見交換した。特に、産業への応用という観点からの議論は、研究成果の応用を考える上で、貴重な機会になった。また、他の研究者による発表を聴講し、二酸化炭素鉱物化に関する多様な手法や知見を得ることができた。これらの経験を、今後の研究の発展に生かしたい。

4．奨学金の使途

受給した奨学金は全額、宿泊費に充当いたしました。